

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハグピア (児童発達支援)		
○保護者評価実施期間	令和8年4月16日		～ 令和8年4月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	令和8年4月16日		～ 令和8年4月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年5月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	完全個別療育であるため、お子さんの得意なこと・苦手としていること・現状何が1番の課題として挙げられるのかが直ぐにキャッチすることが出来ます。	お子さんの性格・障害特性・運動機能を見ながらあらゆるパターンで課題がクリア出来るよう、幾つか教材・教具を用意し実践している。実践したことは必ず記録に残し、次回へ向けてアプローチの仕方をブラッシュアップしております。また、個別支援で得たスキルを幼稚園・保育園での生活・ご自宅での生活でも般化出来るよう、保護者さんが負担無く取り組めそうな内容も検討しております。	お子さんの好反応が見られなかった場合、お子さんの好きなキャラクターやツールを活用した教材や強化子(おもちゃ)を提示しモチベーションを上げております。また、スーパーバイザーや他セラピスト・関係療育機関と相談。新たな策を準備し進めております。状況次第では、時間を置いて再試行する場合の方が良い場合もあるため、お子さんの様子を見ながら別の課題を進めるなどしバランスを取っております。
2	保護者さんに、リアルタイムで課題の実践方法を伝えることができ、メインであるセラピーの様子も直に見ていただけることです。	お子さんの様子を見ながら、大人側の声の掛け方やタイミング等を検証・実践し、取り組んでいただいています。また、保護者さんへも「こういった対応が分かり易くて良かった」などフィードバックをさせていただき、自信を持っていただけるように進めております。	事業所で実際に使用している教材の貸し出し等を行ない、出来るだけホームワーク(ペアレントトレーニング)の充実が出来るように、ご提案させていただいています。
3	保護者さんのお話を毎回伺うことができ、お子さんのエピソードや困り感なども共有し易い環境であることです。	お話を伺う際には、5W1Hだけでなく保護者さんから見て感じることや思いを共有し、どのように解決の糸口を見つけて行くかを随時ご提案しています。	お子さんを取り巻く環境は1つでは無いことから、必要に応じて関係者会議を開催。弊事業所の他、他事業所・幼稚園・保育園・相談支援事業と、支援方針の見直しやアプローチの方法を検討しております。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	集団での活動が圧倒的に少ないことです。	完全個別療育で進めているため、集団活動を作る機会が少なくなっています。	その時に動くことが出来る職員のサポート・同じセラピーのコマで、同じ課題を持っているお子さんがいる場合、協力を得ながら4～5人程度の小集団で活動を行なうなど試みております。
2	屋外活動が少ないことです。	基本的には、1対1の机上で行なう課題を進めて行き、大人の指示に応じることや続けて課題に取り組む態勢を作ることがメインであるためです。	お子さんの様子を見ながらにはなりますが、運動機能面を促進する課題も実施しているため、敷地内の庭スペースを使用して、安全を確保した上で屋外活動を実施するように試みております。
3	急遽、外部からの対応が入った際にタイムリーに動くことが難しいです。	時間帯によっては、管理者(児童発達支援管理責任者)含めセラピスト全員が担当ケースに入っている場合があり、スタッフルームにセラピスト不在の状況が出来てしまうのが現状です。	不在になる時間帯に限り、サポートとなる事務職員を配置し即時対応が出来るような体制を引き続き検討致します。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ハグピア

公表日 令和8年5月26日

利用児童数 13

回収数 13

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13				○ゆったり、のびのびと活動できる十分なスペースです。 ○2階が広く、確保されていると思います。 ○療育場所(個室)は十分にスペースがあり、療育前後に過ごす子供が遊ぶ場所もあるので快適です。	ありがとうございます。引き続き、お子さん・保護者さんに気持ち良く過ごしていただけるよう環境設定を進めて参ります。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	12			1	○定期的に変わるためそれもよい。	引き続き、完全個別療育で進めて行く予定です。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13				○教室の真ん中に椅子とテーブルがあり、自分の座る場所だと把握できているようです。また、先生の後ろにおもちゃ等があり先生と勉強すれば後ろにあるおもちゃで遊べると確認できて頑張れると感じました。	お部屋ドアがマジックミラーになっていることを強みとし、今後もセラピーの様子・課題への取り組みを共有して参ります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13				○教室や遊ぶ場所、トイレ全て綺麗に清潔にされていると感じます。	ありがとうございます。一方で、ネット遊具や椅子の脚部に埃があるのご指摘も頂戴しております。毎日の出勤時等の時間を活用し、子ども達が気持ち良く使うことが出来るよう、管理を徹底して参ります。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13				○根気強く接していただいています。 ○親が子供に出来るようになって欲しい所や難しいと感じている所を理解してくださり、成長できるよう工夫して療育を進めて下さっていると思います。	ありがとうございます。引き続き、担当・スーパーバイザーと共に適切なアセスメントを取り、それに基づく支援が提供出来るよう進めて参ります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	13					今後も、完全個別療育にてお子さんの発達をサポートをして参ります。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	13				○得意な事や苦手な事があるんだと改めて思いました。	ありがとうございます。保護者様のペアレントトレーニングへの参加が、お子さんの成長・発達に大きい影響が出ていることをセラピストも実感しており、学びをいただいているだけでなく喜びも共有出来ていると感じております。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	12				1	お子さんを取り巻く環境は周りにいる大人や物など、外界から作用されることが多いです。引き続き、エビデンスに基づいた支援を展開・説明をして参ります。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13					ありがとうございます。引き続き、お子さんがどこに躓きを感じているのか、丁寧にアセスメントを取りリカバリー出来るように進めて参ります。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12				1	ありがとうございます。お子さんの反応等をしっかり見ながら、課題をスモールステップで構成して参ります。
11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	6	1	3	3	○市の小集団療育施設との併用している為、回答を「どちらとも言えない」にしました。	事業所として大々的に交流する機会は、現状設けておりません。法人にて何かしら大きいイベントがあった際は、チラシの配布や口頭での宣伝をさせていただきます。もし、こういったイベントがあると良いな…とありましたら、遠慮なくご意見いただけたらと思います。我々セラピストも、アイデア出しながら模索して参ります。	
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13					引き続き、お子さん・保護者さんに不利益が被らないよう説明責任を果たして参ります。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13				○長期で通っていると、紙以外でもあとから目標を確認できる場所があっても良いと思った。	ありがとうございます。お子さんへの支援には不可欠ですので、今後も共有して参ります。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12				1	ありがとうございます。併せて、事業所で提供している支援ツール(AI-PAC)の使い方に関しても、契約時やセラピー開始前に、使用方法の疑問点等もお伺いするように配慮致します。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	13				○毎週の報告が1週間を振り返るちょうど良いイベントとして利用出来ている。	週に1回の利用であるため、こちらから保護者さんに生活面や状態の変化など、詳細をお伺いさせていただいています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12	1			○自分たちとは違った見方をしてくれるので、気がつけぬ成長に気づくことができるのがよい。	ありがとうございます。引き続き、利用時以外にもメール等でお話や共有が出来る雰囲気を作って参ります。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12			1		ありがとうございます。今後も、ご家族の伴走者として支援を共有していけるよう進めて参ります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	2	2	6		法人としてのイベント・催しものがあった際は都度宣伝させていただいています。今後も、地域交流・家族交流が出来る機会にはお声掛けさせていただきます。また、事業所単体のイベントに関しては、今後何かしらのテーマを以て、保護者会・交流会といった形で開催が出来ればと考えております。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13					ありがとうございます。ご相談いただいた内容に関しては、必要に応じて詳細をお伺いすると共に、状況に応じて各関係機関との担当者会議を設ける等し解決へと進めて行けるよう、引き続き努めて参ります。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13				○子供だけでなく親が来られない時の配慮してくれた。	メール・口頭・支援ツールを通じて、今後もお子さんの成長過程・保護者さんの困り感や嬉しかったエピソードなど共有して参ります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	9	1	1	2		課題の記録・利用後のフィードバックメール・法人広報誌にお目を通していただき、ありがとうございます。引き続き、事業所・法人の情報発信を積極的に行なって参ります。
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13						引き続き、個人情報の取り扱いには留意して参ります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10		1	2		各種マニュアルが設置されていること、随時お目を通していただく発信が至らなかったと思います。大変申し訳ございません。日常生活を過ごす上で、とても大事な情報が多数あるため随時発信して参ります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5	1		7		各種災害を想定した訓練に関しては、セラピスト間での実施・確認（避難動線の確保や誘導方法など）はしていますが、お子さんが利用している間での避難訓練は実施しておりません。今後、「安全計画」の周知を行ない、必要な訓練として実施を計画し災害時の動きがどうなるか？を共有出来るように致します。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11	1		1		引き続き、教材・遊具などお子さん・保護者さんが手に触れるものに欠損は無いか？点検して参ります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9	1		3		幸い、大きな事故に至るケースはありませんでした。しかし、お子さんの体調の変化や軽微な怪我（手を机にぶつける・ささくれを取ってしまう等）は常に隣り合わせであることを考え、少しでも変化があった際には必ずご報告するよう努めます。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	13				○本人にとっては分からないことも多く嫌なこともあると思うが、通う際に苦労したことはほとんどない。楽しく通える場所になっている。	ありがとうございます。今後も、居心地の良い事業所であるように致します。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	12	1			○幼稚園よりも療育を楽しみにしています。	お子さんとセラピストとの関係性が構築出来ること、とても嬉しく思っております。引き続き、課題の負荷は調整しながら「今日も1日楽しかった！」と言ってもらえるような事業所を目指して参ります。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
満足度	29	事業所の支援に満足していますか。	13				<p>〇こちらに通うことで、子供の支援以外にも日常のちょっとしたこと出来事についても相談できるため非常に助かっている。</p> <p>〇セラピーごとに自宅でもできるアドバイスを下さり、親もたくさん学習させていただいております。</p> <p>〇多動が凄く酷く困っていましたが、療育に通いだしてから1年で落ち着いて行動できる事が増えました。</p> <p>〇子どもにも親にも寄り添ってくれ子どもにあったアドバイスをもらえるので本当に通ってよかったと思っております。</p>	<p>たくさん有難いご意見、本当にありがとうございます。お子さんの成長を共に出来ること、大変嬉しく思います。また、ご自宅におきましても、事業所同様の課題をホームワークとして実践して下さり、有難く存じます。</p> <p>セラピスト達も、日々学びの積み上げです。支援が行き届いていない箇所や、説明の際に言葉が足らず不安や誤解を招いてしまうことの無いよう、細心の注意を払い業務を遂行しております。セラピストの対応だけでなく、環境面においても不足な部分がありましたら、遠慮なく仰ってくださいと思います。</p> <p>今後とも、ご家族のサポーターとして伴走していけたらと思います。</p>

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 ハグピア

公表日 令和8年5月26日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		基準に見合ったスペースを確保しています。	継続して取り組んで参ります。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		基準に沿っているが、セラピスト全員が担当ケースに入っている場合があり、急遽外部からの対応が難しい場合があります。	支援は継続しつつ、外部への対応が滞りなく進むよう体制を一考します。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		お子さんの特性に合わせた環境設定を常に意識し、対応しております。	継続して取り組んで参ります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日環境整備を行ない、居心地の良い環境作りを進めております。また、おもちゃやゲームを幾つか用意し、お子さんのモチベーションが上がるように配慮しております。	継続して取り組んで参ります。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		基本的には、使用することを良しとしています。しかし現状、他のお子さんも他部屋を使用しているため、状況を見ながらの促しにはなりません。	継続して取り組んで参ります。
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		毎日の業務(支援・事務作業等)にて振り返りを行ない、原因の追究と次回からの動き等を随時確認しております。	引き続き自身が抱えているケース等、全体で共有しな更に知見を深められるようにして参ります。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者さん送迎(同伴)のため、その都度ご意向・ご意見を確認しております。また、メールでの連絡も行ない、頂戴した声は事業所内で共有し、改善を心掛けております。	継続して取り組んで参ります。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		日々のケース実施前後・支援者会議・教材作成等の時間を有効活用し、疑問や意見を共有しております。	継続して取り組んで参ります。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	第三者評価の導入を検討しております。	令和7年度において法人内他事業所が受検したため、その経験も踏まえて検討していきます。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		外部研修への参加の他、定期的な研修を法人内で実施しております。	引き続き外部・内部ともに情報を収集し、学びの機会をより増やして参ります。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		5領域に合わせた支援プログラムを作成、公表しております。	継続して取り組んで参ります。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		保護者へのフィードバックや法人内でのスーパーバイズを基に課題等を検討し、計画を作成しております。	継続して取り組んで参ります。
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		作成にあたり、都度関係者会議を開催し、その時期にあった計画内容の検討を行なっております。	継続して取り組んで参ります。
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		各担当職員と話し合いながら、計画を立てた内容を進めております。	継続して取り組んで参ります。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		お子さんの様子を、生活面・課題への取り組み姿勢等から検証し、どのようなアプローチをしていくと成長を促すことが出来るか、エビデンスに基づいて確認しております。	継続して取り組んで参ります。
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		支援の5領域を中心に、各項目に対して現状の様子と課題を記載。具体的な支援内容・支援者が行なうことを、各領域ごとに設定している。	適宜見直しを行ないながら、各領域ごとの支援内容を設定して参ります。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		お子さんの課題構成は、担当セラピスト(職員)による活動の様子をもとに、スーパーバイザーや児童発達支援管理責任者と随時検討しながら立案しております。	継続して取り組んで参ります。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		当日の記録と課題シートへ、「次回課題として進められる事柄」を明記し、成長に沿った課題構成を行なっております。	継続して取り組んで参ります。
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		基本的には個別療育ですが、状況に応じてセラピストのサポートを受け、集団に近い環境設定を行ない支援を実施しております。	継続して取り組んで参ります。
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		各々で必ず日報・メール確認を業務ルーティンへ入れ、必要に応じて詳細をリアルタイムで確認しております。	引き続き、齟齬の無いように取り組んで参ります。
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		その日利用した子どもの状態及び、保護者との話の内容を共有し、次回に活かせるようにしております。	継続して取り組んで参ります。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		サービス提供記録を毎回記入し、検証等につなげられるようにしております。	継続して取り組んで参ります。
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		6ヶ月毎にモニタリングをし、個別支援計画書を更新しています。	継続して取り組んで参ります。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		対象児の担当セラピストや、児童発達支援管理責任者が参加しております。	継続して取り組んで参ります。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		法人内の他事業所と連携を取りながら、地域の医療との連携や各関係機関と連携できる様体制整備をしております。	継続して取り組んで参ります。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		お子さんの保育園・幼稚園等の様子の見学を、先方と相談しながら実施。また、個別療育の他に必要な資源がある際は、保護者さんへ説明し、その根拠を明確に提示しております。	継続して取り組んで参ります。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		保護者さんから、学校見学の情報を伺い、必要に応じて状態報告書の作成や関係者会議の開催を進めております。	継続して取り組んで参ります。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		各事業所や関係機関と連携を図り、支援への助言をいただき共有しております。	継続して取り組んで参ります。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○	ほとんどのお子さんが、他機関の事業所等を利用されているため、現状では機会を設けておりません。	引き続き関係機関と連携し、方法を検討して参ります。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		療育終了後、口頭でのフィードバックとメール等での情報共有等から、共通理解を進めております。	継続して取り組んで参ります。
保護者への説明等	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		スマホやタブレットから確認出来る専用支援ツールを活用。各保護者さんが登録しているため、お子さんの現状の課題や療育の進め方等が常に共有されている状態にあります。また、毎回お越しの際にペアレントトレーニングの状況を確認し、必要に応じてフィードバックをしております。	継続して取り組んで参ります。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に「利用契約書・重要事項説明書・利用規約・映像使用同意書・個人情報同意書」などをお渡しし、説明を行っています。質問等がある場合には、都度対応しています。	継続して取り組んで参ります。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		ご本人やご家族の意向を確認するためのシートを作成し、記入のご協力をいただいた上で聞き取りを行なっています。	継続して取り組んで参ります。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		計画作成ごとに支援内容の説明を行ない、同意をいただいています。	継続して取り組んで参ります。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		その場での対応、その日のうちにメールで回答する等し、迅速かつ的確に対応するよう、掛けております。必要に応じて支援ツールの提供等も行なっています。	継続して取り組んで参ります。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	保護者会等は実施していません。保護者には現状、個別に必要な応じた対応を行なっております。	こどもの成長の描きを共有出来るよう、実施を検討しております。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		事業所及び法人に相談・苦情受付窓口を設置し、迅速に対応しております。	継続して取り組んで参ります。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		利用当日の様子は口頭でのフィードバックとメールで、連絡体制については電話又はメール等で実施しております。会報等については、常法人的3か月毎に発行している広報誌をお渡ししております。	継続して取り組んで参ります。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		鍵付き棚に保管しており、外部への持ち出しは原則許可しておりません。	継続して取り組んで参ります。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		お子さんに合ったコミュニケーションのハウツーをご提案しております。保護者さんとは、実際に療育で使用しているツール等を共有し、日常に般化出来るよう貸し出しも行ない、努めています。	継続して取り組んで参ります。
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		法人で年1回、地域交流イベントを開催しており、そこに事業所の職員も参加しております。開催に際しては、子どもやその保護者さん達にチラシを渡す等し、告知しております。	継続して取り組んで参ります。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルを整備しています。保護者さんへは、契約時に十分な説明をしております。また、追加や改定などあった場合は、速やかにお知らせするようにしております。避難訓練に関しては、職員間でのシミュレーションは定期的実施しておりますが、お子さん・保護者さんが実際に利用している状況での実施は、叶っておりません。	引き続きお子さん・保護者さんが実際に利用している状況での実施を含めて検証していきます。
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		業務継続計画を策定しており、法人規定により定期的な訓練・研修を実施しています。	継続して取り組んで参ります。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		面談や見学、契約時などに確認を行っています。また利用ごとに日々の様子を聞き取り、状況を把握しています。	継続して取り組んで参ります。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		事業内での食事支援(昼食やおやつの提供)は行なっておりません。利用開始前に、アレルギーの有無は伺い、安全に配慮した支援を行なっております。	継続して取り組んで参ります。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		法人内でも支援マニュアルを作成、それに基づいた研修等を実施しています。	継続して取り組んで参ります。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		支援マニュアルに基づいた取り組み内容について、ご家族へ周知しています。	継続して取り組んで参ります。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
非常時等の対応	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		日報にてヒヤリハットを報告・共有、再発防止策を検討しています。	継続して取り組んで参ります。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		年2回法人内部研修として、虐待防止研修を実施しています。	継続して取り組んで参ります。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		行動支援計画を作成し、事前説明を行なっています。身体拘束が必要なお子さんに関しては、児童発達支援事業計画にも実施が必要な場合があるという旨を記載しています。	継続して取り組んで参ります。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハグピア (放課後等デイサービス)		
○保護者評価実施期間	令和8年4月16日		令和8年4月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34 (回答者数)	30
○従業者評価実施期間	令和8年4月16日		令和8年4月16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3 (回答者数)	3
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年5月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	完全個別療育であるため、お子さんの得意なこと・苦手としていること・現状何が1番の課題として挙げられるのかが直ぐにキャッチすることが出来ます。	お子さんの性格・障害特性・運動機能を見ながらあらゆるパターンで課題がクリア出来るよう、幾つか教材・教具を用意し実践している。実践したことは必ず記録に残し、次回へ向けてアプローチの仕方をブラッシュアップしております。また、個別支援で得たスキルを幼稚園・保育園での生活・ご自宅での生活でも般化出来るよう、保護者さんが負担無く取り組めそうな内容も検討しております。	お子さんの好反応が見られなかった場合、お子さんの好きなキャラクターやツールを活用した教材や強化子(おもちゃ)を提示しモチベーションを上げております。また、スーパーバイザーや他セラピスト・関係療育機関と相談。新たな策を準備し進めております。状況次第では、時間を置いて再試行する場合の方が良い場合もあるため、お子さんの様子を見ながら別の課題を進めるなどしバランスを取っております。
2	保護者さんに、リアルタイムで課題の実践方法を伝えることができ、メインであるセラピーの様子も直に見ていただけることです。	お子さんの様子を見ながら、大人側の声の掛け方やタイミング等を検証・実践し、取り組んでいただいています。また、保護者さんへも「こういった対応が分かり易くて良かった」などフィードバックをさせていただき、自信を持っていただけるように進めております。	事業所で実際に使用している教材の貸し出し等を行ない、出来るだけホームワーク(ペアレントトレーニング)の充実が出来るように、ご提案させていただいています。
3	保護者さんのお話を毎回伺うことができ、お子さんのエピソードや困り感なども共有し易い環境であることです。	お話を伺う際には、5W1Hだけでなく保護者さんから見て感じることや思いを共有し、どのように解決の糸口を見つけて行くかを随時ご提案しています。	お子さんを取り巻く環境は1つでは無いことから、必要に応じて関係者会議を開催。常事業所の他、小学校や相談支援事業と、支援方針の見直しやアプローチの方法を検討しております。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	集団での活動が圧倒的に少ないことです。	完全個別療育で進めているため、集団活動を作る機会が少なくなっています。	その時に動くことが出来る職員のサポート・同じセラピーのコマで、同じ課題を持っているお子さんがいる場合、協力を得ながら4～5人程度の小集団で活動を行なうなど試みております。
2	屋外活動が少ないことです。	基本的には、1対1の机上で行なう課題を進めて行き、大人の指示に応じることや続けて課題に取り組む態勢を作ることがメインであるためです。	お子さんの様子を見ながらにはなりますが、運動機能面を促進する課題も実施しているため、敷地内の庭スペースを使用して、安全を確保した上で屋外活動を実施するように試みております。
3	急遽、外部からの対応が入った際にタイムリーに動くことが難しいです。	時間帯によっては、管理者(児童発達支援管理責任者)含めセラピスト全員が担当ケースに入っている場合があり、スタッフルームにセラピスト不在の状況が出来てしまうのが現状です。	不在になる時間帯に限り、サポートとなる事務職員を配置し即時対応が出来るような体制を引き続き検討致します。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ハグピア

公表日 令和8年5月26日

利用児童数 34

回収数 30

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	30				○活動スペースも広く、目的とするエリア毎に分かれているので、子どもにもとても分かりやすい仕様になっていると思います。 ○2階で楽しく遊んでいます。 ○セラピー室、部屋の外、お手洗い、2階の遊び場など、スペースは確保されていて、いつも整理整頓・清潔に保たれている。	ありがとうございます。引き続き、お子さん・保護者さんに気持ち良く過ごしていただけるよう環境設定を進めて参ります。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	30					今後も、完全個別療育にてお子さんの発達をサポートをして参ります。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	29	1			○室内はバリアフリーですし、トイレも広く、子ども用トイレも設置されており、清潔でとても使いやすいです。	お部屋ドアがマジックミラーになっていることを強みとし、今後もセラピーの様子・課題への取り組みを共有して参ります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	29	1			○採光も十分に明るく、清潔で、気持ちよく過ごせます。 ○埃が階段、椅子の下、トランポリンの下などに溜まっているのが気になる。	ご指摘いただいた内容に関して、ご不快な思いをさせ大変申し訳ございません。毎日の出勤時等の時間を活用し、子ども達が気持ち良く使うことが出来るよう、管理を徹底して参ります。
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	30				○毎回素晴らしいと思うのが必ず次の回では、今日の課題の様子から「こうしてみよう、こうしたほうがいいのか」と考えられた方法がきちんと反映されていることです。	ありがとうございます。引き続き、担当・スーパーバイザーと共に適切なアセスメントを取り、それに基づく支援が提供出来るよう進めて参ります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	30					今後も、完全個別療育にてお子さんの発達をサポートをして参ります。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	30					ありがとうございます。保護者様のペアレントトレーニングへの参加が、お子さんの成長・発達に大きい影響が出ていることをセラピストも実感しており、学びをいただいているだけでなく喜びも共有出来ていると感じております。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	30				○家庭でできる支援方法などもアドバイスいただけるので、大変有難いです。	お子さんを取り巻く環境は周りにいる大人や物など、外界から作用されることが多いです。引き続き、エビデンスに基づいた支援を展開・説明をして参ります。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	30					ありがとうございます。引き続き、お子さんがどこに躓きを感じているのか、丁寧にアセスメントを取りリカバリー出来るように進めて参ります。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	29	1			○毎回、本人に合ったプログラムが受けられています。	ありがとうございます。お子さんの反応等をしっかり見ながら、課題をスモールステップで構成して参ります。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	11	5	9	5	○こちらの事業所は、元々そのような支援内容ではありませんし、利用者もその点を求めてこちらに通っている訳ではありませんので、問題ありません。	事業所として大々的に交流する機会は、現状設けておりません。法人にて何かしら大きいイベントがあった際は、チラシの配布や口頭での宣伝をさせていただいています。もし、こういったイベントがあると良いな…とありましたら、遠慮なくご意見いただけたらと思います。我々セラピストも、アイデア出しながら模索して参ります。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	29	1				引き続き、お子さん・保護者さんに不利益が被らないよう説明責任を果たして参ります。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	30					ありがとうございます。お子さんへの支援には不可欠ですので、今後も共有して参ります。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	23	4		3	○毎回、課題の前後、またはメール等で丁寧かつ詳細に情報提供・情報共有をさせていただいております。	ありがとうございます。併せて、事業所で提供している支援ツール(AI-PAC)の使い方に関しても、契約時やセラピー開始前に、使用方法の疑問点等もお伺いするように配慮致します。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	30				○非常に丁寧にヒアリングやフィードバックをさせていただいております。 ○親身に聞いてくださってありがたいです。	・ありがとうございます。週に1回の利用であるため、こちらから保護者さんに生活面や状態の変化など、都度詳細をお伺いさせていただいております。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	30				○大変助かっております。	ありがとうございます。引き続き、利用時以外にもメール等でお話や共有が出来る雰囲気を作って参ります。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	30				○本人、家族にも寄り添った支援をさせていただいております。出来る事が増えると一緒に喜んでくださり、支援方法をご提案いただいたり、感謝しております。	ありがとうございます。今後も、ご家族の伴走者として支援を共有していけるよう進めて参ります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8	7	7	8	○事業所単独ではないかと思いますが、グループ全体の保護者会を開催させていただいており、そちらで参加させていただいております。 ○同じ母体の施設で参加させていただいております。お祭りのイベントにも告知して下さり参加しています。	法人としてのイベント・催しものがあった際は都度宣伝させていただいております。今後も、地域交流・家族交流が出来る機会にはお声掛けさせていただきます。また、事業所単体のイベントに関しては、今後何かしらのテーマを以て、保護者会・交流会といった形で開催が出来ればと考えております。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	27	1		2	○困りごとがあり相談すると即対応策を教えてください。話を聞いてくださいます。場はいつも開かれており、常に安心感があります。育児に対してどうしたらいいのか悩み、不安や辛くなる事が減りました。	ありがとうございます。ご相談いただいた内容に関しては、必要に応じて詳細をお伺いすると共に、状況に応じては各関係機関との担当者会議を設ける等し解決へと進めて行けるよう、引き続き努めて参ります。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	28	2			○毎回丁寧に情報共有、支援方法をご提案させていただいております。	メール・口頭・支援ツールを通じて、今後もお子さんの成長過程・保護者さんの困り感や嬉しかったエピソードなど共有して参ります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	24	3		3		課題の記録・利用後のフィードバックメール・法人広報誌にお目を通していただき、ありがとうございます。引き続き、事業所・法人の情報発信を積極的に行なって参ります。
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	29			1			引き続き、個人情報の取り扱いには留意して参ります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	24	3		3		各種マニュアルが設置されていること、随時お目を通していただく発信が至らなかったと思います。大変申し訳ございません。日常生活を過ごす上で、とても大事な情報が多数あるため随時発信して参ります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10	3		17		各種災害を想定した訓練に関しては、セラピスト間での実施・確認(避難動線の確保や誘導方法など)はしていますが、お子さんが利用している間での避難訓練は実施していません。今後、「安全計画」の周知を行ない、必要な訓練として実施を計画し災害時の動きがどうなるかを共有出来るように致します。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
非常時等の対応	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	25	1		4		引き続き、教材・遊具などお子さん・保護者さんが手に触れるものに欠損は無いか点検して参ります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	22	1		7		幸い、大きな事故に至るケースはありませんでした。しかし、お子さんの体調の変化や軽微な怪我（手を机にぶつける・ささくれを取ってしまう等）は常に隣り合わせであることを考え、少しでも変化があった際には必ずご報告するよう努めます。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	30				〇嫌がることもなく、むしろ楽しみにしている様子がみられます。	ありがとうございます。今後も、居心地の良い事業所であるように致します。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	26	4			〇慣れるまでは行き渋りがありましたが、最近ではトレーニングに対しても前向きな姿勢になってきました。 〇ハグピアがある日は朝から楽しみにしている様子がみられます。	お子さんとセラピストとの関係性が構築出来ることは、とても嬉しく思っております。引き続き、課題の負荷は調整しながら「今日も1日楽しかった」と言ってもらえるような事業所を目指して参ります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	30				〇本当に子どもの力になるカリキュラムとトレーニングを組んでくださり、力が身についてきていると感じます。ハグピアさんに通所できたこと、本当に良かったと感じています。 〇いつも丁寧かつ温かく接してくださり、本人に合った適切な支援が受けられていると感じております。また、成長を共に喜び、子どものより良い成長のために一緒に考えてくださる姿勢に、いつも家族で感謝しております。 〇わかりやすい支援、ありがとうございます。 〇先生方はとても優しく、丁寧に指導してくださりありがたいです。子育てや教育など分からないことなども相談すると一緒に考えてくださり安心感があります。いつもありがとうございます。	たくさんの有難いご意見、本当にありがとうございます。お子さんの成長を共に出来ること、大変嬉しく思います。また、ご自宅におきましても、事業所同様の課題をホームワークとして実践していただき、有難く存じます。 セラピスト達も、日々学びの積み上げです。支援が行き届いていない箇所や、説明の際に言葉が足らず不安や誤解を招いてしまうことの無いよう、細心の注意を払い業務を遂行しております。セラピストの対応だけでなく、環境面においても不足部分がございましたら、遠慮なく仰ってくださいと思います。 今後とも、ご家族のサポーターとして伴走していけたらと思います。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和8年5月26日				
ハグピア						
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		基準に見合ったスペースを確保しています。	継続して取り組んで参ります。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		基準に沿っているが、セラピスト全員が担当ケースに入っている場合があり、急遽外部からの対応が難しい場合があります。	支援は継続しつつ、外部への対応が滞りなく進むよう体制を一考します。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		お子さんの特性に合わせた環境設定を常に意識し、対応しております。	継続して取り組んで参ります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日環境整備を行ない、居心地の良い環境作りを進めております。また、おもちゃやゲームを幾つか用意し、お子さんのモチベーションが上がるように配慮しております。	継続して取り組んで参ります。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		基本的には、使用することを良しとしています。しかし現状、他のお子さんも他部屋を使用しているため、状況を見ながらの促しにはなりません。	継続して取り組んで参ります。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		毎日の業務（支援・事務作業等）にて振り返りを行ない、原因の追究と次回からの動き等を随時確認しております。	引き続き自身が抱えているケース等、全体で共有しな更に知見を深められるようにして参ります。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者さん送迎（同伴）のため、その都度ご意向・ご意見を確認しております。また、メールでの連絡も行ない、頂戴した声は事業所内で共有し、改善を心掛けております。	継続して取り組んで参ります。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		日々のケース実施前後・支援者会議・教材作成等の時間を有効活用し、疑問や意見を共有しております。	継続して取り組んで参ります。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		第三者評価の導入を検討しております。	令和7年度において法人内他事業所が受検したため、その経験も踏まえて検討していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		外部研修への参加の他、定期的な研修を法人内で実施しております。	引き続き外部・内部ともに情報を収集し、学びの機会をより増やして参ります。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		5領域に合わせた支援プログラムを作成、公表しております。	継続して取り組んで参ります。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		保護者へのフィードバックや法人内でのスーパーバイズを基に課題等を検討し、計画を作成しております。	継続して取り組んで参ります。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		作成にあたり、都度関係者会議を開催し、その時期にあった計画内容の検討を行なっております。	継続して取り組んで参ります。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		各担当職員と話し合いながら、計画を立てた内容を進めております。	継続して取り組んで参ります。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		お子さんの様子を、生活面・課題への取り組み姿勢等から検証し、どのようなアプローチをしていくと成長を促すことが出来るか、エビデンスに基づいて確認しております。	継続して取り組んで参ります。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		支援の5領域を中心に、各項目に対して現状の様子と課題を記載。具体的な支援内容・支援者が行なうことを、各領域ごとに設定している。	適宜見直しを行ないながら、各領域ごとの支援内容を設定して参ります。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		お子さんの課題構成は、担当セラピスト（職員）による活動の様子をもとに、スーパーバイザーや児童発達支援管理責任者と随時検討しながら立案しております。	継続して取り組んで参ります。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		当日の記録と課題シートへ、「次回課題として進められる事柄」を明記し、成長に沿った課題構成を行なっております。	継続して取り組んで参ります。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		基本的には個別支援ですが、状況に応じてセラピストのサポートを受け、集団に近い環境設定を行ない支援を実施しております。	継続して取り組んで参ります。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		各々で必ず日報・メール確認を業務ルーティンへ入れ、必要に応じて詳細をリアルタイムで確認しております。	引き続き、齟齬の無いように取り組んで参ります。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
適切な支援の提供	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		その日利用した子どもの状態及び、保護者との話の内容を共有し、次回に活かせるようにしております。	継続して取り組んで参ります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		サービス提供記録を毎回記入し、検証等につなげられるようにしております。	継続して取り組んで参ります。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		6ヶ月毎にモニタリングをし、個別支援計画書を更新しています。	継続して取り組んで参ります。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	○		個別支援の中にも、着替えや排泄などADLの面へのアプローチや、工作を通しての創作活動・運動機能面の発達促進、好きなおもちゃやゲームで遊ぶ等の支援を実施しております。	引き続き、メリハリを付けながら展開して参ります。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		遊びたいおもちゃや課題で使いたいツールなど、随時お子さんの意志を何うと同時に自ら要求を言葉で伝えることが出来るように支援をしております。	継続して取り組んで参ります。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		対象児の担当セラピストや、児童発達支援管理責任者が参加しております。	継続して取り組んで参ります。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		法人内の他事業所と連携を取りながら、地域の医療との連携や各関係機関と連携できる様体制整備をしております。	継続して取り組んで参ります。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		必要に応じて、学校、保護者、相談支援機関と連携をとり、情報共有に努めております。	継続して取り組んで参ります。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		必要に応じて、相談支援機関を通じて就学前に利用していた幼稚園や保育園等と連携を取り、情報共有に努めております。	継続して取り組んで参ります。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		現在までに対象者がおりません。	今後対象者が出た場合には、相談支援機関や移行先の障害福祉サービス事業所と連携をとり、情報共有に努めて参ります。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		各事業所や関係機関と連携を図り、支援への助言をいただき共有しております。	継続して取り組んで参ります。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○	ほとんどのお子さんが、他機関の事業所等を利用されているため、現状では機会を設けておりません。	関係機関と連携し、方法を検討して参ります。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		同一法人内の職員が、地域のこども部会などへ参加しております。	継続して取り組んで参ります。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		支援終了後、口頭でのフィードバックとメール等での情報共有等から、共通理解を進めております。	継続して取り組んで参ります。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		スマホやタブレットから確認出来る専用支援ツールを活用。各保護者さんが登録しているため、お子さんの現状の課題や支援の進め方等が常に共有されている状態にあります。また、毎回お越しの際にペアレントトレーニングの状況を確認し、必要に応じてフィードバックをしております。	継続して取り組んで参ります。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に「利用契約書・重要事項説明書・利用規約・映像使用同意書・個人情報同意書」などをお渡しし、説明を行っています。質問等がある場合には、都度対応しています。	継続して取り組んで参ります。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		ご本人やご家族の意向を確認するためのシートを作成し、記入のご協力をいただいた上で聞き取りを行なっています。	継続して取り組んで参ります。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		計画作成ごとに支援内容の説明を行ない、同意をいただいています。	継続して取り組んで参ります。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		その場での対応、その日のうちにメールで回答する等し、迅速かつ確に対応できるよう、掛けております。必要に応じて支援ツールの提供等も行なっています。	継続して取り組んで参ります。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	保護者会等は実施していません。保護者には現状、個別で必要に応じた対応を行なっております。	こどもの成長の描きを共有出来るよう、実施を検討しております。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		事業所及び法人に相談・苦情受付窓口を設置し、迅速に対応しております。	継続して取り組んで参ります。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		利用当日の様子は口頭でのフィードバックとメールで、連絡体制については電話又はメール等で実施しております。会報等については、常法人の3か月毎に発行している広報誌をお渡ししております。	継続して取り組んで参ります。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		鍵付き棚に保管しており、外部への持ち出しは原則許可していません。	継続して取り組んで参ります。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
保護者への説明等	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		お子さんに合ったコミュニケーションのハウツーをご提案しております。保護者さんとは、実際に支援で使用しているツール等を共有し、日常に般化出来るよう貸し出しも行ない、努めています。	継続して取り組んで参ります。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		法人で年1回、地域交流イベントを開催しており、そこに事業所の職員も参加しております。開催に際しては、子どもやその保護者さん達にチラシを渡す等し、告知しております。	継続して取り組んで参ります。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルを整備しています。保護者さんへは、契約時に十分な説明をしております。また、追加や改定などあった場合は、速やかにお知らせするようにしております。避難訓練に関しては、職員間でのシミュレーションは定期的実施しておりますが、お子さん・保護者さんが実際に利用している状況での実施は、叶っておりません。	引き続きお子さん・保護者さんが実際に利用している状況での実施を含めて検証していきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		業務継続計画を策定しており、法人規定により定期的な訓練・研修を実施しています。	継続して取り組んで参ります。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		面談や見学、契約時などに確認を行っております。また利用ごとに日々の様子を聞き取り、状況を把握しています。	継続して取り組んで参ります。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		事業内での食事支援（昼食やおやつ提供）は行なっておりません。利用開始前に、アレルギーの有無は伺い、安全に配慮した支援を行っております。	継続して取り組んで参ります。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		法人内でも支援マニュアルを作成、それに基づいた研修等を実施しています。	継続して取り組んで参ります。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		支援マニュアルに基づいた取組み内容について、ご家族へ周知しています。	継続して取り組んで参ります。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		日報にてヒヤリハットを報告・共有、再発防止策を検討しています。	継続して取り組んで参ります。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		年2回法人内部研修として、虐待防止研修を実施しています。	継続して取り組んで参ります。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		行動支援計画を作成し、事前説明を行っております。身体拘束が必要なお子さんに関しては、放課後等デイサービス計画にも実施が必要な場合がある旨を記載しています。	継続して取り組んで参ります。	

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	かりん		
○保護者評価実施期間	令和8年4月16日		～ 令和8年5月17日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	令和8年4月27日		～ 令和8年4月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年5月23日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・事業所内で教室の移転を行ない、活動スペースを広げたことでより各個人の課題性や特性にあった環境設定を行なう事ができることです。	・全体の活動だけでなく特性や課題性の合う3～5人程度の小グループを編成して活動を行なうようにしています。 ・各グループでの活動は事前に取り組み内容を職員間で話し合った上で各職員が担当しています。また、実施後の振り返りも同時に行なっています。	・取り組みの中で、課題性の変化やご本人の習得具合に合わせ、定期的にメンバー編成の変更や課題の見直しを行なっています。
2	・運動プログラムの一環としてローラースケートを実施しています。	・ご本人のタイプや特性等に関わらず、一度は必ず実施して頂くようにし、ご本人のバランス力や道具の扱い等を確認しています。	・屋外での実施も取り入れていますが、屋内での実施回数に比べると実施回数が少ない為、より機会を増やしていきます。
3	・生活力を向上させていくための取り組みを行なっています。	・立つ、座る等基本的な動作から、ルール・順番を守る、呼名に対して応答する等社会性をあげていくための課題を実施しています。 ・支援級のお子さんに対しては相手の気持ちを知ることやネットリテラシーの学習等より身近な内容をテーマに生活力の向上を図っています。	・基本的な動作獲得の継続や、身近な時事問題等その都度の支援のテーマに沿って必要な課題を構成しています。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・直接的にお子さん達の活動の様子や取り組みをご覧になっていただける機会が少ない事です。	・送迎時にお話はさせて頂いていますが、時間が限られてしまっていることや「見学会」と行った公開日のような時間は設ける事がし切れていない事が要因と考えられます。	・年に3回保護者会の実施を行なっており、その際に各お子さんの活動の様子を動画にして見て頂く等でご覧になって頂く機会を設けています。 ・参観日の様な見学ができる日等を検討して行きます。
2	・余暇支援に関してのバリエーションが少なくなっている事です。	・買い物や外出等行なっているが、現状は日常的な活動プログラムに対してどのお子さんもそれぞれのペースで取り組み切れる事と言う部分を重視している為です。	・お子さん方の特性に合わせたグループ編成を行なっている為、グループごとの企画としての実施等身近に外出等の余暇支援を実施できる環境を作っていきます。 ・昨年度に続き、夏休みや冬休み等の学校の長期休暇期間を利用し、非日常的なプログラムを企画、実施していきます。
3	・職員間の連携の拡充の方法	・共生型と生活介護事業所と併設している環境で取り組みを行なっているが、生活介護職員と情報共有等に不足がある部分がある点です。 ・職員の業務整理が不十分なためです。	・送迎等に協力して頂く等、お子さん達を知って頂く機会を増やしていきます。 ・管理者や児童発達支援管理責任者を含め、今一度職員の業務分担の整理を行っていきます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 かりん

公表日 令和8年5月26日

利用児童数 30

回収数 10

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	7	1	0	2	・まだ拝見していないため。	保護者会等を通して新しくなった教室をご覧いただける機会を設けていきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	6	2	0	2		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	7	0	0	3	・以前拝見した際には、配慮されていると感じております。	活動スペース以外にも遊びのスペース等も設け、よりお子さん達にわかりやすい環境設定を行なっていきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	9	0	0	1	・以前伺った際に、テーブルにべたつきを感じましたが、不快ではありませんでした。	活動前後の清掃や消毒など、より安心安全にご利用頂ける空間作りを行なっていきます。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10	0	0	0	・「預かり」という形の放課後等デイサービスではなく、個々の特性を活かし、伸ばしていく活動内容に大変感謝しております。 ・私たちが理解できていない子供のことを理解してくださり、本人に適した支援をしていただいていることによって、同じ人間だとは思えない成長を見せてくれているため。	関係機関との連携や必要なスーパーバイズ等を受ける等、より職員の専門性を高め個々の成長にも寄与した支援を継続してまいります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	7	0	0	3		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	10	0	0	0		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	8	1	0	1		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	9	0	0	1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	9	0	0	1		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	3	0	4	3	・市内の体育館をお借りするなど、ゼロではないと思います。	イベント参加等も含め積極的に地域交流できる機会を検討してまいります。
保護者への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	10	0	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	7	3	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	1	0	0	・なかなか私たち両親がうまく関われないことはありますが、教えていただいたことは頭に入れております。	今後もより「ご自宅でも活かすことのできる」プログラムを検討し、情報提供を継続してまいります。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態について共通理解ができていると思いますか。	9	1	0	0	・保護者会を通して日々の様子や成長を実際に見せていただき、具体的にお話を加えてくださるので、とても分かりやすく理解出来ると感じています。 ・時々業務などの関係で様子が分からない時もありますが、後にお教えいただき理解することはできております。	保護者会を通じての日々の様子のお伝えに加え、送迎時等よりタイムリーに様子をお伝えできる様にしてまいります。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	7	2	0	1	・困りごとを相談した時も「かりん」さんではどのようにしているか、を説明してくださるので自宅に戻り直ぐに取り入れることが出来ます。	各利用日毎の様子を共有し、双方で実践していく事が出来る様お話をしていきます。
17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10	0	0	0			

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	2	0	1	・まだきょうだい同士の交流には参加出来ていないので今後開催されましたら、ぜひ参加したいと思います。	見学会などを検討し、ごきょうだいの気軽に参加交流できる機会を検討して行きます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	7	2	0	1	・どこに相談したらよいか、メールは見えていただけているのか…と感じることはありません。	ご相談経路の明確化とメールを頂いた際の返信期限等を職員間で統一して行きます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	8	1	0	1	・はい。信頼しております。	引き続き情報伝達の為の配慮を継続していきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	8	2	0	0	・信頼して預けていますが、日々の活動の様子など、わからないことも多いです。	保護者会、送迎時の情報共有を含め定期的な情報発信を行なって行きます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	8	2	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	6	0	1	3		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4	0	0	6	・災害時にはお迎えに伺わねばならないと思うのですが、どのようにしたら良いのか教えていただけるとありがたいです。	ご連絡経路や方法を改めてお伝えできるように致します。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	7	1	1	1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	7	1	0	2		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	9	1	0	0	・帰る時にいつも後ろを振り向いて名残惜しそうにしています！ ・はい、とても大切な場所になっております。	今後の安心して、また来たいと思っていただける事業所作りを行なって行きます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	8	1	0	1		
	29	事業所の支援に満足していますか。	10	0	0	0	・いつもありがとうございます。今後ともよろしくお願致します。 ・大変満足しています。巡り会えて子供だけでなく家族も支えられていますので感謝ばかりです。	ご家族と一緒にチームとなって、ご本人の今後のより良い支援を考えていく事を継続して行きます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		かりん					公表日	令和8年5月26日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		基準以上のスペースを確保しています。	ご利用児童数に応じたスペースについては、引き続き配慮していきます。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		基準以上の職員数を配置しています。	よりきめ細やかなニーズに対応できる様、スポットのプログラムに特化したボランティアの方の協力等を模索して行きます。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		個別課題時に使用する個室スペース、活動内容を示すスケジュールボード等設置しています。また、活動によってエリアを分け、わかりやすいようにしています。	エリア分け等に関してはご本人達が主体的に動くことができる様、引き続き視覚化等行なって行きます。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		課題用の棚、余暇物の棚を別々に配置し、わかりやすくしています。余暇物に関しては活動との切り替えが明確にできる様、視覚的な配置変更を行なっています。	継続して取り組んでいきます。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		教室内に区分けされた個別のスペースを設けており、自由に出入りできるようになっています。	継続して取り組んでいきます。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		毎日の打ち合わせにて前日の活動全体の振り返り、特記すべき個別ケースに対しての検討・情報共有・当日の支援への反映等について話し合いを行なっています。	継続して取り組んでいきます。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		送迎時のお話や共有メールを活用し、その都度意向やご意見を確認しています。頂いた声は事業所内で共有し、改善を心がけております。	改善後の経過も踏まえて改めてのお伝えがより行えるようにして行きます。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎日受け入れ前に打ち合わせを実施し、利用者支援・事務業務等について意見交換・改善案の策定を行なっています。出た意見に対して実際に取り組みを行ない、その結果を振り返る様にしています。	継続して取り組んでいきます。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	今後、外部への委託検討しています。	評価実施の際はさらなる改善を行なって行きます。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		外部研修への参加の他、定期的な研修を法人内で実施しています。	外部・内部ともに情報を収集し、学びの機会をより増やしていきます。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		各領域に合わせた支援プログラムを作成、公表しています。	引き続きし作成、公表を行なって行きます。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		保護者へのフィードバックや法人内でのスーパーバイズを基に課題等を検討し、保護者への聞き取りも反映させながら計画を作成しています。	継続して取り組んでいきます。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		作成にあたり、放課後等デイサービス計画作成の為の関係者会議を開催しその時期にあった計画内容の検討を行なっています。	それぞれの関連職員がより共通理解できる様、引き続き会議時期の選定等を行なって行きます。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		各担当職員と話し合いながら、計画を立てた内容を進めています。	実施状況の各職員間でのフィードバックを、引き続き強化して行きます。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		お子さんごとに一定期間ごとの着目する行動を決め、その行動に対しての行動観察や情報共有を行ない状況把握を行なっています。	共通指標の為にフォーマルアセスメントの実施等を引き続き盛り込んでいきたいと思えます。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		支援の5領域を中心に各項目に対して現状と課題、具体的な支援内容・支援者が行なうことを各領域ごとに設定しています。	引き続き適宜見直しを行ないながら、各領域ごとの支援内容を設定して行きます。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		日々のミーティングや、スーパーバイズを基にプログラムを立案し、担当者及び児童発達支援管理責任者とで話し合いながら進めています。立案が個人に偏らないよう、小集団の活動時のプログラム内容に関して事前に共有を行ない意見交換を行ない、立案しています。	週間計画等により、支援が見える化出来るより詳細な立案を、引き続き行なって行きます。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
適切な支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		利用当日の記録に「次回課題」の項目を設け、状況に合わせたプログラム構成を行なっています。	「次回課題」を振り返ることで固定プログラムにならないよう引き続き対応していきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		集団での課題と、個別での課題に応じた活動を盛り込んだ計画を作成しています。	日々の活動の中で、計画に対しての実施状況をより共通の指標で残すことができる様、引き続き書式等を整備していきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎日の打ち合わせを実施し、役割分担やその日の課題について確認しています。声掛けの方法や支援の内容に齟齬が無いよう確認を行なっています。	取り組みを継続し、齟齬のないよう取り組んでいきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		その日利用した子どもの状態及び、保護者との話の内容を共有し、次回に活かせるようにしています。	次回利用時に気づきとして振り返りを行なっている為、継続していきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		サービス提供記録を毎回記入し、検証等につなげられるようにしております。	継続して取り組んでいきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		6ヶ月毎に放課後等デイサービス計画書についてモニタリングをし、計画書を更新しています。	継続して取り組んでいきます。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		歯磨きなどの日常生活動作への支援や絵画や工作等の創作活動、ボランティアの方を受け入れての活動、余暇支援の為の過ごし等の提供を行なっています。支援のニーズに合わせて小グループを構成しながら取り組みを行なっています。	継続して取り組んでいきます。
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		買い物の活動等を取り入れ自己選択の機会を作ったり、プログラムの中でご自身で活動内容を選んで頂けるような設定を行なっています。	継続して取り組んでいきます。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者が参加しています。	継続して取り組んでいきます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		法人の事業所と連携を取りながら、地域の医療との連携や各関係機関と連携できる様体制整備をしています。	継続して取り組んでいきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		必要に応じて、学校、保護者、相談支援機関と連携をとり、情報共有に努めております。	継続して取り組んでいきます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		必要に応じて相談支援機関を通じて就学前に利用していた幼稚園や保育園等と連携をとり、情報共有に努めております。	継続して取り組んでいきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		移行にあたり、ご本人の特性やコミュニケーションの方法、活動の実施状況やご家族の情報等基本情報中心に障害福祉サービス事業所へ情報提供を行なっています。	継続して取り組んでいきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		各事業所やセンターと連携を図り、助言等について共有しております。	継続して取り組んでいきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○	ほとんどのお子さんが、他機関の事業所等を利用されているため、現状では機会を設けてはいません。	関係機関と連携し、方法を検討していきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		同一法人内の職員が地域のこども部会などへ参加しております。	継続して取り組んでいきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		毎回の利用時の送迎時やメール等での情報共有などから共通理解をはかっています。	継続して取り組んでいきます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		専門的なものは実施できていませんが、事業所で取り組んだことをご自宅でも実施していただけるように、ツールを用意する等行っています。	継続して取り組んでいきます。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に「利用契約書・重要事項説明書・利用規約・映像使用同意書・個人情報同意書」などをお渡しし、説明を行っています。質問等がある場合には、都度対応しています。	継続して取り組んでいきます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		ご本人やご家族の意向を確認するためのシートを作成し、記入の協力を頂いた上で聞き取りを行なっています。	継続して取り組んでいきます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		計画作成ごとに支援内容の説明を行ない、同意を頂いています。	継続して取り組んでいきます。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		迅速かつ的確に対応するように心がけています。必要に応じて支援ツールの提供等もなっています。	継続して取り組んでいきます。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		年に3回程保護者会を実施し、それまでの活動報告やご家族同士の交流の場を設ける等を行っています。	継続して取り組んでいきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		事業所及び法人に苦情受付窓口を設置し、苦情があった際には迅速に対応しています。	継続して取り組んでいきます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		利用時の様子は送迎時のフィードバック、連絡体制については電話メール等で実施しています。会報等については、幣法人の3か月毎に発行している広報誌をお渡ししております。またプライバシーに配慮しながらSNSでの発信を行なっています。	継続して取り組んでいきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		鍵付き棚に保管しています。また、SNSに関しては契約時に公開する内容やその範囲に関して保護者との話し合いの上、同意を頂いた範囲のみで公開する様留意しています。	継続して取り組んでいきます。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		お子さんに合ったコミュニケーションツールの確立をはかっています。保護者とは実際に事業所等で使用しているツール等を共有し、日常に般化できるよう努めています。	継続して取り組んでいきます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		法人で年1回、地域交流イベントを開催しており、そこに事業所の職員も参加しております。開催に際しては、子どもやその保護者に告知しております。	継続して取り組んでいきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルを整備しています。保護者には契約時に十分な説明をしています。また、追加や改定などあった場合は速やかにお知らせするようにしています。また法人規定により発生を想定した訓練を実施しています。	継続して取り組んでいきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		業務継続計画を策定しており、法人規定により定期的な訓練を実施しています。	継続して取り組んでいきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		面談や見学、契約時などに確認を行っています。また利用ごとに日々の様子を聞き取り、状況を把握しています。また「医療関連情報」を事前に頂くことでより確実な確認を行なっています。	継続して取り組んでいきます。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		現在対象者はいませんが、契約時などに「医療関連情報」を事前に頂くことで確認を行なっています。	継続して取り組んでいきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		法人内でも支援マニュアルを作成、それに基づいた研修等を実施しています。	継続して取り組んでいきます。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		支援マニュアルに基づいた取組み内容について、ご家族へ周知しています。	継続して取り組んでいきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		毎日の打ち合わせを実施しヒヤリハットを共有、再発防止策を検討しています。	継続して取り組んでいきます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		年2回法人内部研修として、虐待防止研修を実施しています。	継続して取り組んでいきます。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		行動支援計画を作成し、事前説明を行なっています。身体拘束が必要なお子さんに関しては放課後等デイサービス計画にも実施が必要な場合がある旨を記載しています。	継続して取り組んでいきます。	